

# 2015年度 決算概要

2016年5月10日

沖電気工業株式会社



# 本日のご説明内容

1. 15年度 通期決算について
  - 1-1) 決算の概要
  - 1-2) セグメント情報(売上高)
  - 1-3) セグメント情報(営業利益)
  - 1-4) 営業利益の変動要因
  - 1-5) B/Sの概要
  - 1-6) キャッシュ・フローの概要
  
2. 16年度 計画について
  - 2-1) 足もとの環境認識と16年度の方針
  - 2-2) 売上高・利益計画の概要
  - 2-3) セグメント情報
  - 2-4) 営業利益の変動要因
  - 2-5) フリー・キャッシュ・フロー
  - 2-6) 設備投資・研究開発投資

## 決算の概要

- 前年比減収・減益となったものの営業利益は公表計画以上を確保
- 営業外為替差損の影響などにより当期純利益は66億円
- 期末配当金は1株当たり3円を実施の予定(計画通り)

(単位:億円)	15年度 実績	11/5公表 計画	計画比	14年度 実績	前年比
売上高	4,903	5,150	△247	5,402	△499
営業利益	186	170	+16	324	△138
経常利益	114	145	△31	379	△265
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	66	100	△34	331	△265
USD平均レート(円)	120.2	125		109.9	
EUR平均レート(円)	132.6	135		138.8	

## セグメント情報(売上高)

- 中国ATMやキャリア向け既存ネットワークが前年比減
- 消防無線のデジタル化はピークアウト
- 国内の現金処理機や金融機関向けシステムは順調

(単位:億円)	15年度 実績	11/5公表 計画	計画比	14年度 実績	前年比
情報通信	3,048	3,200	△152	3,525	△477
プリンター	1,246	1,300	△54	1,293	△47
E M S	424	460	△36	403	+21
その他	185	190	△5	181	+4
合計	4,903	5,150	△247	5,402	△499

### ※情報通信の実績および差異の内訳

	15実績	計画比	前年比
ソリューション &サービス	846	+ 21	+ 7
通信システム	685	△ 70	△204
社会システム	461	△ 19	△128
メトロシステム	1,057	△ 83	△150
情報通信 計	3,048	△152	△477

## セグメント情報(営業利益)

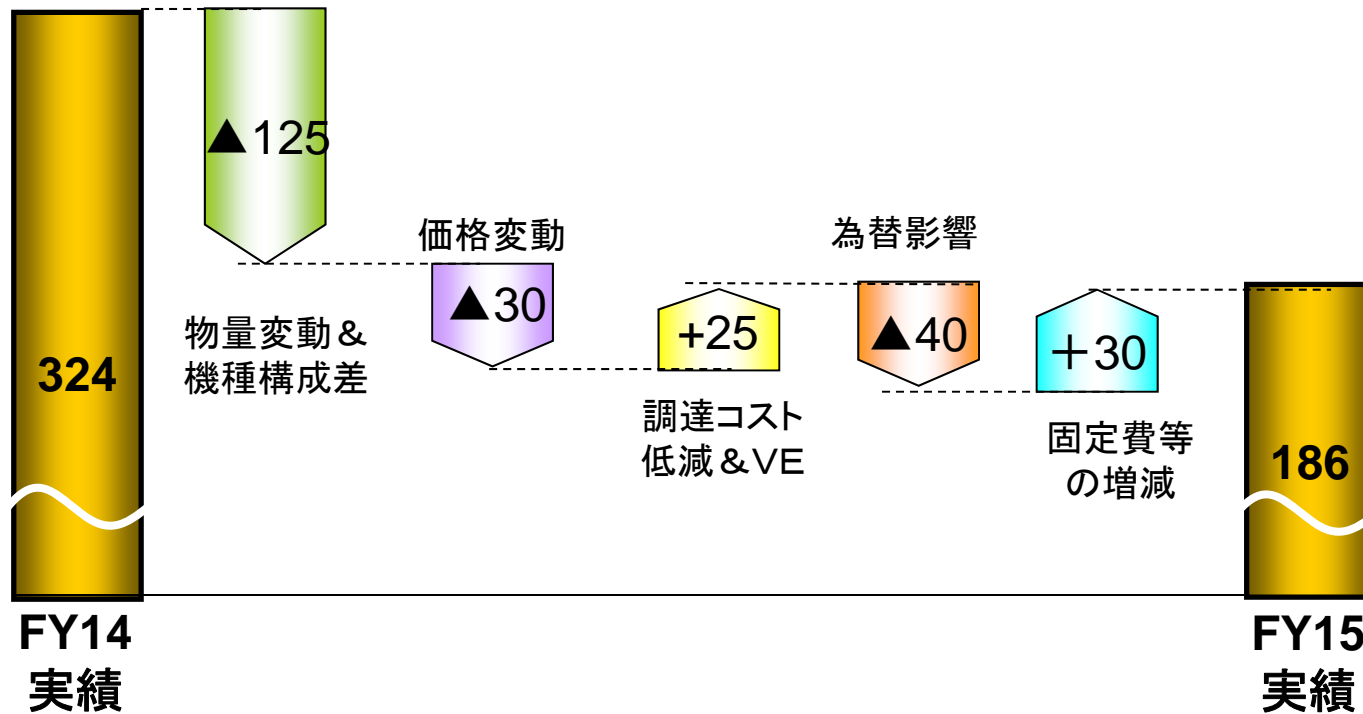
- 情報通信の売上減およびプリンターの為替影響などにより前年比で減少
- 構造改革の効果などにより国内事業の収益性は改善が進む

(単位:億円)	15年度 実績	11/5公表 計画	計画比	14年度 実績	前年比
情報通信	165	155	+10	259	△94
プリンター	14	20	△6	67	△53
E M S	23	25	△2	20	+3
その他	42	40	+2	35	+7
消去・本社費	△58	△70	+12	△57	△1
合計	186	170	+16	324	△138

# 営業利益の変動要因(前年対比)

- 物量の減少や為替影響により減益

(億円)



## B/Sの概要

- 自己資本は、利益の積上げをしたものの、外部環境の要因により  
その他包括利益累計額が減少
- 総資産は圧縮

(単位:億円)	16年3月	15年3月	前年差異
流動資産	2,776	2,936	△160
固定資産	1,341	1,457	△116
資産の部	4,118	4,394	△276
流動負債	1,992	2,116	△124
固定負債	1,052	1,064	△12
負債の部	3,044	3,180	△136
自己資本	1,067	1,196	△129
その他	7	18	△11
純資産	1,074	1,214	△140
負債及び純資産合計	4,118	4,394	△276
自己資本比率(%)	25.9	27.2	△1.3%
DEレシオ(倍)	1.1	0.9	0.2増

## キャッシュ・フローの概要

- 売上債権の未回収などの一過性の要因もあり  
フリー・キャッシュ・フローは174億円の支出

(単位:億円)	15年度	14年度	前年差
I 営業キャッシュ・フロー	△36	410	△446
II 投資キャッシュ・フロー	△138	△186	+48
フリー・キャッシュ・フロー(I + II)	△174	224	△398
III 財務キャッシュ・フロー	111	△207	+318
現金および現金同等物の残高	463	536	△73
設備取得額	116	106	+10
減価償却費	144	145	△1

フリー・キャッシュ・フローおよびキャッシュ・フロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています



# 本日のご説明内容

1. 15年度 通期決算について
  - 1-1) 決算の概要
  - 1-2) セグメント情報(売上高)
  - 1-3) セグメント情報(営業利益)
  - 1-4) 営業利益の変動要因
  - 1-5) B/Sの概要
  - 1-6) キャッシュ・フローの概要
  
2. 16年度 計画について
  - 2-1) 足もとの環境認識と16年度の方針
  - 2-2) 売上高・利益計画の概要
  - 2-3) セグメント情報
  - 2-4) 営業利益の変動要因
  - 2-5) フリー・キャッシュ・フロー
  - 2-6) 設備投資・研究開発投資

## 足もとの環境認識と16年度の方針

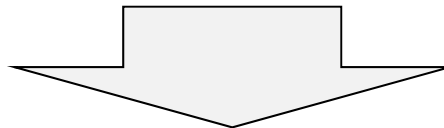
### ＜事業環境の変化＞

海外：新興国経済の減速

中国ATM市場での国産ベンダー台頭

オフィスプリンター市場の縮小、競争の激化

国内：ICTを活用した社会インフラの高度化需要の拡大



「中期経営計画2016」最終年度の方針

「安定収益の確保」

「成長事業の創出」

「財務基盤の強化」

## 売上高・利益計画の概要

- 通期での前年比増収・増益を目指す
- 年間配当金は5円を計画
- 為替レート的前提 USD110円 EUR125円

(単位:億円)	16年度計画		15年度実績	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計
売上高	5,000	2,100	4,903	2,230
営業利益	200	0	186	36
経常利益	180	△5	114	27
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	120	0	66	9

## セグメント情報

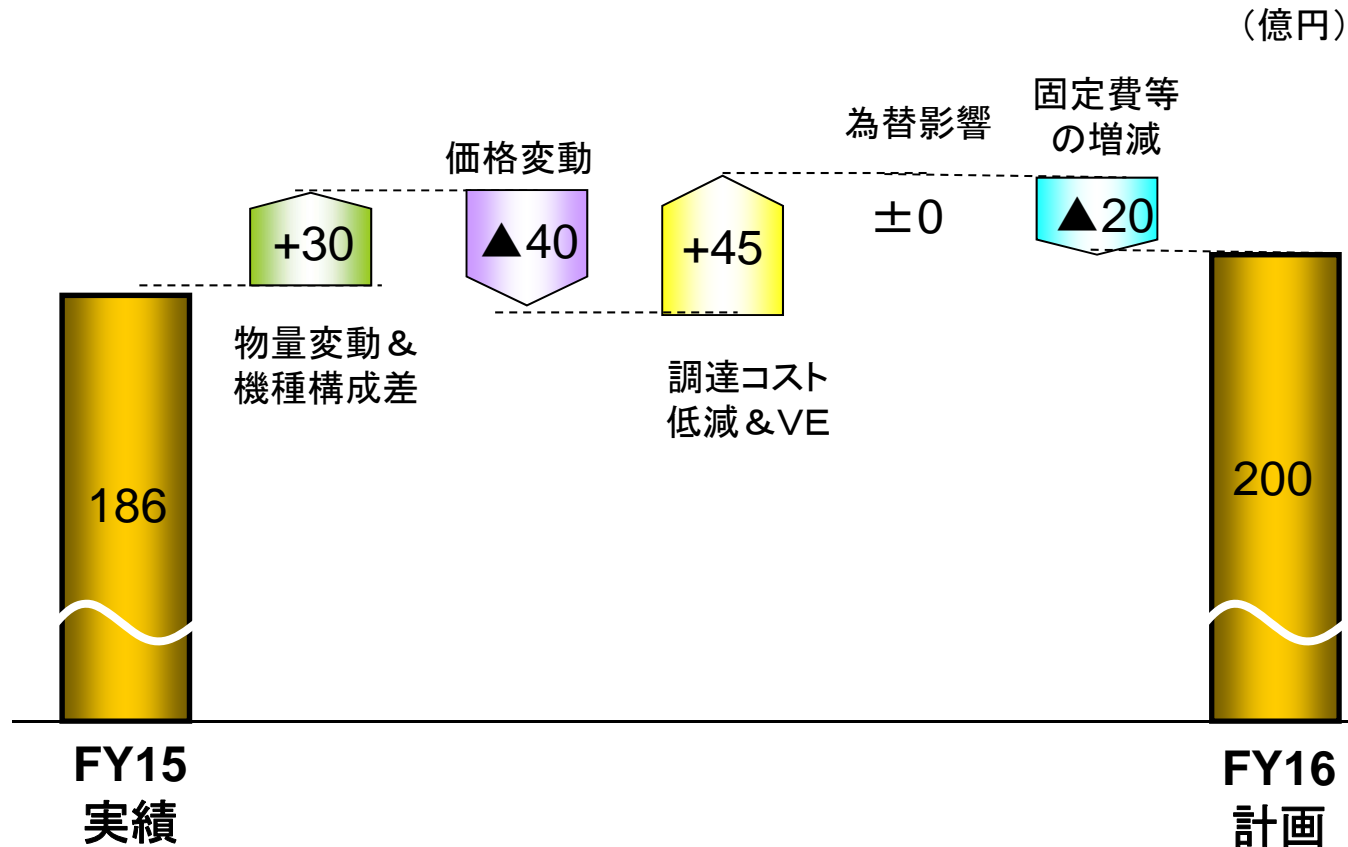
- 情報通信は安定収益事業で構造改革を進め収益を拡大
- メカトロシステムは中国のビジネスを再構築、グローバル展開を強化
- プリンターは戦略商品の販売を拡大、M&Aがフル寄与

(単位:億円)		16年度計画		15年度実績	
		通期	2Q累計	通期	2Q累計
情報通信	売上高	1,880	660	1,912	789
	営業利益	135	△12	116	9
メカトロシステム	売上高	1,120	510	1,137	550
	営業利益	55	23	60	35
プリンター	売上高	1,330	640	1,246	591
	営業利益	25	0	14	△5
EMS	売上高	480	210	424	206
	営業利益	25	8	23	8
その他	売上高	190	80	185	95
	営業利益	35	16	42	22
消去・本社費	営業利益	△75	△35	△69	△33
合計	売上高	5,000	2,100	4,903	2,230
	営業利益	200	0	186	36

※情報通信およびメカトロシステムはリステート後

# 営業利益の変動要因

- 物量増および調達コストの低減により増益



## フリー・キャッシュ・フロー

- 安定的なキャッシュ・フローを確保して財務基盤をさらに強化

(単位:億円)	16年度	15年度	前年差
I 営業キャッシュ・フロー	250	△36	+286
II 投資キャッシュ・フロー	△150	△138	△12
フリー・キャッシュ・フロー(I + II)	100	△174	+274

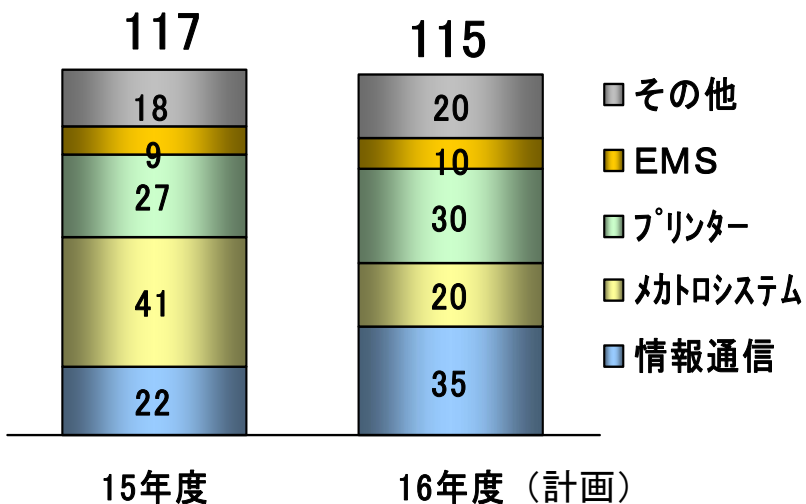
# 設備投資、研究開発投資

## 設備投資(有形固定資産)

## 研究開発投資

(単位:億円)

### 【投資額】

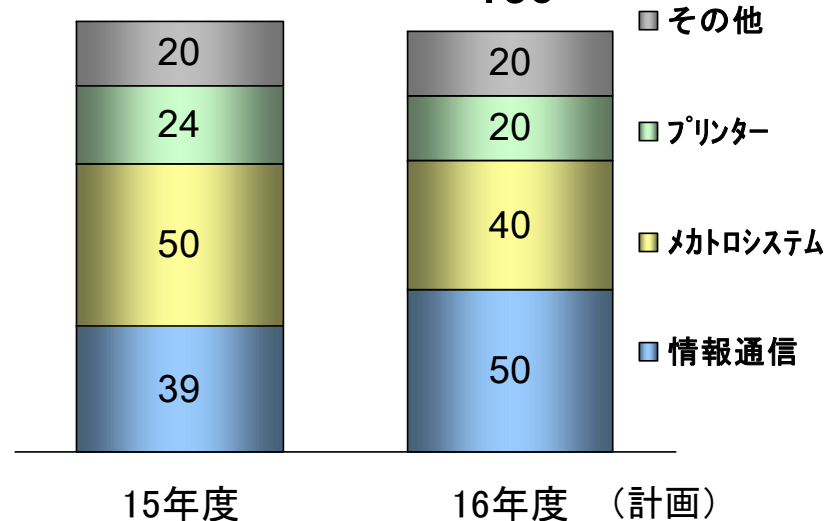


### 【減価償却費】

112                      120

133

130



## ご注意

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

※億円単位の数値の表示方法について：  
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。  
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。